



全国学力・学習状況調査（3年）及びNRT検査（1・2年）の結果

本年度実施された全国学力・学習状況調査（4月18日実施）の結果が9月末に公表されました。その結果を受けて、本校生徒の強みと弱みを分析して検証した結果と今後の指導についてお知らせします。また、1学期に1、2年生を対象にして実施されたNRT検査（学力到達度検査）の結果についても、同様に本校の生徒の学力の定着状況、その強みと弱みについて分析し、今後の手立てについてまとめました。調査より、本校生徒の学力のすべてが測定できるものではありませんが、その結果より今後の本校の子どもたちの学力向上の取り組みに活かしたいと思います。



1年生・2年生 NRTの結果について

四日市市教育委員会では、市内の小中学生の学力を把握するため、平成14年度から到達度検査を実施しています。

1年生の国語と数学、2年生の国語と数学と英語の平均正答率と全国の平均正答率を比較しました。

【1年生について】

国語については、「書くこと」「話す・聞くこと」「言語についての知識・理解・技能」を問う問題の正答率が全国平均を上回っています。しかし、「読むこと」を問う問題の正答率がやや低く、特に説明的文章より文学的な文章を読みとる力が下回っています。そこで今後は、朝の読書タイム等も活用して文学作品を読む機会を増やしていくとともに、授業においても文学的文章の良さを感じさせたいと思います。

数学については、「数学的な見方や考え方」を問う問題は全国平均をわずかに上回っていますが、「数学的な技能」と「数量や図形などについての知識・理解」については全国平均を大きく下回っており、定着するための勉強量が不足しています。領域別にみると、「関数」については全国平均並みですが、「数と式」「図形」に関しては全国平均を下回っています。また、「資料の活用」については、全国平均を上回っているものの、正答率は50%を下回る結果となっています。この現状を厳しく受け止め、授業では小テストや音声計算で演習量を確保して知識や技能を定着させていくほか、自分のわかつてることを説明する機会をより多く設けていきたいと思います。

【2年生について】

国語については、「書くこと」「読むこと」「話すこと・聞くこと」「言語についての知識・理解・技能」の4観点で全国平均を上回っています。説明的な文章を読む問題や、語句・表現技法についての問題の正答率がわずかに低い結果となりました。段落ごとの内容を捉え、文章全体の構成を考えられる能力が身に付くよう学習活動を組み立てていきます。また、漢字などの語彙力を高める取り組みを継続するとともに、既習の内容を日常生活の中でも活用できる力を付けていきます。

数学については、「数学的な見方や考え方」「数学的な技能」「数量や図形などについての知識・理解」とすべての観点において全国平均を上回っており、基礎的な学力は身についているといえます。領

域別にみると「数と式」「関数」「資料の活用」については全国平均を大きく上回っています。「図形」について全国平均を上回っているものの苦手としている生徒が多いようです。また、「数学的な見方や考え方」についても正答率は低いので、授業で発展的な内容を取り入れ、数学的な思考力が向上するように取り組みます。

英語については、領域別項目（聞くこと・話すこと・読むこと・書くこと）すべてにおいて正答率が全国平均を上回っています。とくに大きく上回っているのは「書くこと」の問題です。昨年度から取り組んでいる日常の小テストや、自主勉ノートの取り組みの成果が形に表れたと考えています。

課題としては「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」の正答率がやや低いことです。ペアやグループでの取り組みをさらに活発にして、積極的に会話を楽しむ生徒を育成したいと考えています。

3年生全国学力・学習状況調査の結果について

※ 全国や三重県の平均正答率と本校の平均正答率を比較して分析しました

国語

A問題では全国平均、三重県平均を上回る結果となりました。B問題では、全国平均、三重県平均を下回る結果となりました。また、無回答率は、全国平均より下回っているものの、三重県平均を上回る結果になりました。

国語A（知識）

漢字を読む問題では、全国平均、三重県平均を上回り、漢字を書く問題では1問を除き、全国平均、三重県平均を上回る結果となりました。しかし、慣用句などの語句を文脈の中で適切に使う問題で全国平均、三重県平均を下回る結果となりました。今後、慣用句やことわざ、故事成語など、古くから伝わる言葉にふれる機会を充実させていきたいと考えます。

国語B（活用）

集めた材料を整理して文章を構成する問題では、三重県平均、全国平均を上回る結果となりました。しかし、比喩を用いるなどの表現の仕方について着目し、自分の考えを記述する問題では、全国平均、三重県平均を大きく下回る結果となりました。今後、比喩をはじめとする表現技法の復習や、設問に対し自分の考えを記述する問題に繰り返し取り組んでいきたいと考えます。

数学

A、B問題とも、全国平均、三重県平均を上回る結果となりました。また、選択問題の無回答率については、0%のものが多くなっています。しかし、全体の無回答率については、全国平均を下回る結果となりましたが、三重県平均より上回る結果となっています。

数学A（知識）

数と式、図形、関数分野においては、全国平均、三重県平均を上回る結果となりました。また、資料の活用の分野においては、三重県平均とほぼ同じ結果となり、基礎的、基本的な知識については、理解できていると考えられます。しかし、数学的な用語の意味を問われている問題の正答率が全国平均、三重県平均を下回る結果となりました。

数学B（活用）

数と式の分野においては、全国平均、三重県平均を大きく上回る結果となりました。しかし、関数分野においては、三重県平均を下回る結果となりました。また、数学的な表現を用いて説明したり、問題解決の方法を数学的に表現したりする問題での無回答率が高くなっています。

数学A・Bの結果を受け、なぜそうなるのかの根拠を説明することや、どのように考えたのか、考えた過程を数学的な用語、表現を用いて説明することを今後も積極的に取り組んでいきたいと思います。

生徒質問紙からみられる3年生の特徴

学習状況の調査については生徒の質問項目で全国平均と比べた結果を紹介します。なお、下の表の数値は、各質問に対し「あてはまる」・「どちらかといえばあてはまる」（肯定粹な回答）の合計をパーセントで表しています。

生徒への質問	本校	三重県	全国
難しいことでも失敗を恐れず挑戦していますか	76.7 ↑	73.2	70.8
人が困っているときは進んで助けることができます	89.4 ↑	86.0	84.4
学習目標とまとめをノートに書いていますか	89.4 ↑	80.8	80.3
予習をしていますか	37.6 ↑	33.4	31.7
友達の前で自分の考えや意見を発表することが得意ですか	57.1 ↑	54.3	50.5
人の役立つ人間になりたいと思いますか	91.8 ←	92.7	91.9
学級で協力して何かをやり遂げうれしかったことがありますか	86.5 ←	87.1	86.0
将来の夢や目標を持っていますか	62.9 ↓	71.2	70.5
いじめはどんな理由があってもいけないことと思いますか	90.0 ↓	93.0	92.8
社会や地域で起こっている問題や出来事に关心がありますか	50.6 ↓	59.8	59.2
自分には良いところがありますか	67.6 ↓	73.2	70.7
復習をしていますか	44.7 ↓	48.6	50.5

○全国・県平均より肯定的な回答の割合が高い質問項目

- ・朝食をきちんととる
- ・就寝時近の習慣化している
- ・ものごとを最後までやり遂げてうれしかった
- ・友達の前で自分の考えや意見を発表することが得意です
- ・学級みんなで何かを達成できた。
- ・学校の規則を守っています
- ・学習目標とまとめをノートに書いています



○全国・県平均より肯定的な回答の割合が低い質問項目

- ・生徒の間で話し合う活動は、考えを深めたり、広めることができる
- ・話し合い活動で自分と異なった意見や少数意見を活かしたり、折り合いをつけたりして話し合うことができる
- ・地域の行事に参加している
- ・将来、学習したことは役に立ちますか
- ・原稿用紙に感想文や説明文を書いたり、授業で自分の考えを説明したり文章にすることができる



「難しいことでも失敗を恐れず挑戦していますか」「人が困っているときは進んで助けていますか」「学習したことは将来役に立ちますか」の質問は、全国平均より高い結果となっています。しかし、「将来の夢や目標を持っていますか」「自分に良いところがありますか」「いじめはどんな理由があってもいけない」との質問に「あてはまる」・「どちらかというとあてはまる」と回答した割合は全国平均より低く、明確に「はい」答える生徒は過去の卒業生よりも低くなっています。また、学習やテストの得点等具体的な事象に対する関心は高いが、生き方や生きがいなどを想像したり描いたりする資質能力や、自分で状況を確認して判断して行動に移す態度が弱い傾向があります。

この結果を課題と考え、本校の教育目標「人を大切にする」が実践できる生徒を育て、夢や志を持ち、学ぶことと社会とのつながりを意識しながら自立できる生徒の育成を目指します。

今後の指導や取り組みについて

今後も、生徒自身が自分の将来を切り拓くために志授業などのキャリア教育を推進します。勉強することの意義を考えさせ、生徒の意欲を高める授業を目指し、家庭学習の習慣を確実に身につけるために以下の点について充実を図ります。

- ・将来への展望を持たせ、勉強する意義を考えさせ、活動への意欲を持たせるよう働きかけます。
- ・生徒の職業観を広げ、地域人材・資源を活用した体験的活動の充実を図ります。
- ・すべての活動の場で、生徒を認め、自己肯定感や人権意識を高める取り組みを進めます。
- ・クラス会議の理論を一步進め、身の回りの課題を見つけ、主体的・協働的に解決する能力、コミュニケーション力等、実社会で必要となる資質・能力の育成に努めます。
- ・授業のめあてを明確に示し、授業の振り返りを行い、本校の学力向上システム「M I T A K I」の「I」＝「ICTの活用」や、「T」＝「ともに学ぶ＝グループ活動」、「A」＝『アプローチ』等をさらに充実させて、生徒の関心を高め、意欲的に取り組めるように指導の改善を図ります。
- ・補充学習等の充実として帰りの会の前に基本的な学習の定着を図るための学習を行い、また月曜日の7限目を「学習サポートタイム・グッジョブ」の時間として家庭学習シートの点検や補充学習を計画的に行います。
- ・家庭学習の習慣を確実に身に付けるため1. 2年生は毎日の授業の振り返りシートに取り組み、3年生は、帰りの会前の基礎学習プリントに向けての学習を継続して取り組みます。



保護者のみなさまへのお願い

1 家庭学習の充実

本校は全国平均に比べて予習に比べ復習を行う生徒が少ないとの結果が示されました。昨年度より家スタディーに取組み、家で宿題をする生徒数が改善されてきています。

学校では勉強する意義を考えさせ、将来のため目標を持って学び続ける生徒を育てたいと思います。ご家庭におきましても、お子様が**将来の自分の姿**を思い描きながら勉強する姿を認め、励まし、育てていただきますようよろしくお願いします。

2 通信機器等の使用的ルールを設定

生徒質問紙の結果より、昨年度までに比べてゲームやメール・インターネットの**使用時間が減少して、家庭での学習時間が増えて**います。今後も学校でもネットモラルの学習に継続して取り組んでおりますので、ご家庭でも、使用についてのモラル・マナーについて話し合い、適切に使用できるようご指導よろしくお願いいたします。

3 親子の対話の中で学ぶ

地域や社会で起こっている問題について**関心が低い傾向**にあります。今社会で求められている資質・能力を育てるには複数の正解がある課題に向き合うことが必要です。お子様に社会とのつながりを強く意識させてください。対話を多く持つコツは「聴き上手」になることです。受容的にしっかりとお子様の考えを聞き、皆様の意見や考えをお子様に伝えてください。